

みでんか

まつさか市議会だより

vol.65
2017.5.1

マジメで
面白くない
報告ですが…



松阪市の 平成29年度 当初予算が 決まりました!!



平成29年2月定例会は予算議会でした。
開催は2月15日から3月23日までの37日間、市長の「基本的な考え方」と当初予算案が審議されました。

3月13日、本会議で各常任委員長報告の後、平成29年度一般会計予算案に対し、「福祉会館の現松阪公民館の移転とそれに伴う松阪公民館のマーム（ショッピングセンター）への移転経費を、当初予算案から削除する」修正案が上程されました。

提案説明後、採決され結果、賛成少数で修正案は否決となり、当初予算案が可決となりました。

当初予算案
可決

● 平成29年度当初予算内訳（平成28年度との比較）

	平成29年度	平成28年度	増減額
一般会計	636億4,622万円	622億3,357万4,000円	14億1,264万6,000円
特別会計 (8会計)	529億9,894万4,000円	524億8,983万6,000円	5億910万8,000円
企業会計 (3会計)	260億5,485万7,000円	257億8,537万円	2億6,948万7,000円
合計	1,427億2万1,000円	1,405億878万円	21億9,124万1,000円

2月定例会の概要

2月24日から3月23日までの37日間の日程で開催しました。今定例会では、「平成29年度松阪市一般会計予算」のほか、競輪事業などの特別会計予算、水道事業会計などの企業会計予算、「松阪市健康センター条例の一部改正について」や、「平成28年度松阪市一般会計補正予算（第4号）」など55議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

また、請願として「白猪山山頂付近の市有地への風力発電施設建設を承諾しないよう求める請願」を全会一致で採択としました。

議員提出議案の「松阪市議会委員会条例の一部改正について」など2議案は全会一致で可決しました。このほか、「リバーサイド茶倉組合の経営状況について」など9件の報告がありました。

用語解説

一般会計…教育・福祉行政サービスや道路・公園の整備など市の行政運営に使う予算
特別会計…競輪事業・国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業・簡易水道事業・戸別合併処理浄化槽整備事業・農業集落排水事業・住宅新築資金等貸付事業など特定の目的のみで使う独立した予算
企業会計…独立採算の水道事業・公共下水道事業・松阪市民病院事業に使う予算

白猪山（飯南町）への風力発電計画への反対意思表示

飯南町深野地区自治連合会
白猪山の自然を守る会
大石町自治会



▲棚田百選の深野だんだん田からのぞむ白猪山

風力発電施設に反対の請願

地元自治会等から、「白猪山山頂付近の市有地への風力発電施設の建設計画」について、市に反対の意思を表明するよう求める請願書が、平成29年2月定例会に提出されました。

※昨年5月には深野地区住民の84%を超える署名と、建設中止を求める陳情書が市長に提出されています。

請願書の内容は、平成27年12月に東京の事業者が風力発電施設建設の計画をしているとの報道を受け、再び風力発電の計画が持ち上がったことに対して、建設予定の12基の内、11基が市の所有地であり、地権者である松阪市長の意思により計画を止めさせることができるという同12月定例会の市長の答弁により、市に対して、反対の意思を表明するよう求めるという趣旨でした。

白猪山の地質は崩れやすく甚大な土砂崩れ被害が起こる可能性、低周波音の問題、棚田百選になっている深野の棚田が白猪山と一対になっている景観の保護など、地域環境への懸念から、「白猪山山頂付近への風力発電事業計画への反対意思」と、「市有地を風力発電および関連事業に使わせない意思」を市が表明する、という請願は全会一致で採択されました。



平成29年
2月定例会



議決結果一覧表 (55議案、9報告)



全会一致で可決、同意、賛成された案件

議案番号	案 件
議案第2号	平成29年度松阪市競輪事業特別会計予算
議案第6号	平成29年度松阪市簡易水道事業特別会計予算
議案第7号	平成29年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算
議案第8号	平成29年度松阪市農業集落排水事業特別会計予算
議案第9号	平成29年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第11号	平成29年度松阪市公共下水道事業会計予算
議案第12号	平成29年度松阪市松阪市民病院事業会計予算
議案第13号	松阪市保健・医療・福祉施設整備基金条例の廃止について
議案第14号	松阪市リバーサイド茶倉事業基金条例の廃止について
議案第15号	松阪市飯南希望の森づくり事業実施条例等の廃止について
議案第16号	松阪市行政組織条例の一部改正等に伴う関係条例の整理について
議案第17号	松阪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第18号	松阪市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第19号	松阪市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について
議案第20号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第21号	松阪市職員の給与に関する条例等の一部改正について
議案第23号	松阪市手数料条例の一部改正について
議案第24号	松阪市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について
議案第25号	松阪市健康センター条例の一部改正について
議案第26号	松阪市休日・夜間応急診療所条例の一部改正について
議案第28号	松阪市介護保険条例の一部改正について
議案第29号	市道路線の認定について
議案第30号	市道路線の廃止について
議案第31号	市道路線の変更について
議案第32号	財産の無償譲渡について
議案第33号	専決処分の承認について（松阪市市長、副市長及び教育長の給料、旅費等に関する条例の一部を改正する条例）
議案第36号	平成28年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第2号）
議案第40号	平成28年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第41号	平成28年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）
議案第42号	平成28年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
議案第43号	平成28年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）



表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	案 件
議案第 44 号	平成 28 年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 45 号	平成 28 年度松阪市水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 46 号	平成 28 年度松阪市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 47 号	平成 28 年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 51 号	副市長の選任について
議案第 52 号	監査委員の選任について
議案第 53 号	教育長の任命について
議案第 54 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 55 号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第 1 号	松阪市議会委員会条例の一部改正について
発議第 2 号	市議会議員の派遣について
請願第 1 号	白猪山山頂付近の市有地への風力発電施設建設を承諾しないよう求める請願書

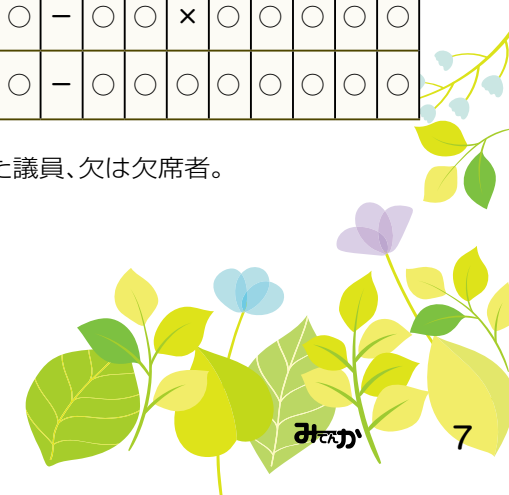


表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審議結果
議案第 1 号	平成 29 年度松阪市一般会計予算	賛成多数 可決
議案第 1 号	平成 29 年度松阪市一般会計予算に対する修正動議 (海住恒幸議員外 2 名提出)	賛成少数 否決
議案第 3 号	平成 29 年度松阪市国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 4 号	平成 29 年度松阪市介護保険事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 5 号	平成 29 年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 10 号	平成 29 年度松阪市水道事業会計予算	賛成多数 可決
議案第 22 号	松阪市税条例等の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 27 号	松阪市国民健康保険税条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 35 号	平成 28 年度松阪市一般会計補正予算（第 4 号）	賛成多数 可決
議案第 37 号	平成 28 年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	賛成多数 可決
議案第 38 号	平成 28 年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	賛成多数 可決
議案第 39 号	平成 28 年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	賛成多数 可決
議案第 48 号	松阪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 49 号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 50 号	松阪市市長、副市長及び教育長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決

議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ							市 民 ク ラ ブ				日 本 共 産 党		公 明 党		グ ル ー プ 阜		青 凜 会		前川幸敏								
	米倉芳周	坂口秀夫	植松泰之	堀端 脩	野呂一男	山本芳敬	大平 勇	大久保陽一	水谷晴夫	川口 保	永作邦夫	松田俊助	中島清晴	田中 力	今井一久	久松倫生	松田千代	松岡恒雄	山本 節		西村友志	西口真理	深田 龍	海住恒幸	沖和哉	中村良子	濱口高志	楠谷さゆり
議案第 1 号 原 案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	×	×	×	○	○	○	×	欠
議案第 1 号 修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	×	×	×	○	欠
議案第 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 10 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 22 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 27 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 35 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 37 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 38 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 49 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 50 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 西村友志は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席者。



代表質問

平成28年度当初予算の審議にあたり、2月定例会初日に市長から市政に対する所信が述べられました。

これに対し、会派の代表および会派に所属しない議員が、ひとりあたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

【例】所属議員3人の会派は、50分×3人=150分の時間制限となります。

代表質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、各会派および会派に所属しない議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。



前川 幸敏 議員 (会派に所属しない議員)

新しい施設「マーム」に移転して新規の利用者が増えるかなあ～。



松阪公民館 商業施設での移動は

Q なぜ、松阪マームに変わっていくのか。家賃はどの様に話をされたのか。

A 松阪公民館は中央公民館の機能を有している。慢性的な駐車場不足を解消、大規模改修や建て替えを考えている際には移転を考える必要ありとの答申をいただいている。公民の施設の集約による集客効果や公民館活動の活性化が図られる。家賃は坪当たり5,000円程度でそれを下回る事が望ましい。マーム松阪商業開発株式会社と話を進めている。

獣害対策について

Q 津市は倍以上獣害対策に取り組んでいる。会員も高齢化をしている。どの様に確保されるのか。他市は鉄砲、わなの免許を取るのに補助金を出しているが。

A 津市は4,000頭、松阪は2,000頭。猟友会員は63歳と高齢化して減少が予想される。国では猟銃税の減免措置があり、当市は免許取得は支援はしていない。昨年は9名が狩猟免許を取得し、新たに会員になっていただいた。今後は中山間地域の自治会へ呼び掛けていく。



グループ阜

「豪商のまち」公共施設配置 「意義」それとも「異議」?

- 代表質問 海住 恒幸 議員
- 関連質問 西口 真理 議員
- 深田 龍 議員



海住 恒幸 議員

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画の意義について

Q 当計画で松阪公民館の移転が上がっている。答申は、移転を考える際はサービス低下や利用者減少につながらないよう十分な検討を求めているのに、それよりも前に移転が決まっており答申を無視した。公は建前を重視してほしい。建前を無視するようになったらトランプさんと一緒。市長は「誠実に、ものを隠さず、公正に」が原則。ルールを守れ。答申を出すより前に移転を決定していいのか。

A 答申無視ということではない。

Q 答申には「施設の修繕や建て替えを考える際には移転という考え方も必要。しかし、移転を考えるとサービス低下や利用者の減少につながらないよう十分な検討を」とあるのに、教育委員会事務局の答弁は「大規模改修の折は移転を行うべき」と事実を歪曲している。市長も一緒に、「異議」の積み上げで事実を変えていく懸念がある。プロセスの中に詭弁がまかり通るのは即刻やめてもらいたい。反論あればお答えいただきたい。



▲松阪公民館など移転対象施設の検討資料はすべて黒塗り非公開だった

A まるで何か密室で決まって、ウソを言まくって皆さんを説得するごとく言われているがそういうことは決してない。

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画 ～公共施設の再配置について



▲マームへ移転する松阪公民館

Q 平成29年度末で廃館となるプラザ鈴。「廃館後は利用者のサービス低下にならないよう講座は公民館等替わりの場所を提供する」と言っていたが、51講座中、公共施設に替わりの場所が見つかったのは10講座のみ。地区公民館は飽和状態で空き部屋がない状況。担当部の見解は。市の認識に甘さがあったのではないか。

A 現在23講座が決定していない状況。廃館までにはすべての講座の方が受講できる環境ができるよう努めていく。

Q 松阪公民館のマーム移転は唐突感があった。高齢の方が多く車に乗れない方が、マームへ行ったら行けなくなる、どうしたらいいかという声を沢山聞く。「松ヶ崎駅から歩ける距離。コミュニティバスも出ている」との答弁は余りにも冷たいのでは。

A 近鉄松ヶ崎駅から約650m、徒歩5～10分。バス路線も9便に増便し一定の利便性も上がってきている。

- Q 三雲松阪線のバスの本数、時間、講座との関係、行けなくなってしまう事のないようきめ細かい対応をしていただきたい。
- A ニーズ調査等も含めて、適正なダイヤ変更や便数について検討を進めていきたい。

一次救急医療体制について

- Q 2カ所ある一次救急医療体制の一元化を目指され、そこに至らなかった理由と経緯を聞く。
- A 開設以来、4,000人以上の利用があり、場所の認知も進んでいることから業務委託をしている「いおうじクリニック」は現在の場所での診療を希望されたため。
- Q 平成30年度に向けて、再度、一元化を目指すのか？
- A 目指すべきは365日・24時間という体制。できる限りその方向だが、医師会「いおうじクリニック」の協力がないと成り立たない。協議しながら進めていく。

産業支援センターについて

- Q 産業支援の総合窓口として商品開発や販路拡大、事業課題を抱える市内企業の課題解決に向けて支援を行っていきと聞く。雇用対策についても取り組むのか？
- A 雇用についても考えていかなければならない。ただ、既存の支援機関が得意とする支援メニューを活用して、効率的に企業と人材のマッチングをしていくことも必要と考える。



▲「産業支援センター」が入るカリヨンビル

市民クラブ

平成29年度予算と竹上市長の市政運営について

- 代表質問 松田 俊助 議員
- 関連質問 中島 清晴 議員
- 川口 保 議員



松田 俊助 議員

新電力事業会社の設立について

- Q 民間事業者との共同出資による新会社を設立とあるが、今から民間事業者を選定していくのか、また、クリーンセンターの発電量は。
- A 4月早々にも公募型プロポーザルを実施、新電力事業を実施している実績のある事業者を選定する。発電量については、平成27年度実績において、2,040万kwhとなっている。



▲松阪市クリーンセンター

三世同居について

- Q 昨年の代表質問で三世同居の提案をして、早速29年度に予算化され、さすが竹上市長と評価したい。近居という認識ですが、1キロ以内という考え方がいかなものか。
- A 1キロという定義ですが、三世が同じ小学校区に住む場合の想定を基本的にしている。



空き家対策について

- Q 空き家対策として問題がある空き家があった場合、尋ねる課がない、一般市民の皆さんがわかるよう空き家対策プロジェクトを早く立ち上げてほしい。
- A 少子高齢化、人口減少時代に突入した中、非常に深刻な問題になっている。1年間で建物に関して30件程度、雑草に関して50件程度問い合わせがあった。役割と責任をより明確にするため、プロジェクトチームを立ち上げ検討していく。

床上浸水対策について

- Q 市長は床上浸水を10年で無くしたいということですが、そのプロセスは。
- A 市長と知事との1対1対談において、浸水ゼロに向けて連携を強化することとなり、浸水被害が発生している三渡川、百々川、愛宕川、名古屋川について調査解析業務を分担して実施する。1年目は発生原因

とメカニズムを推定し、効果的な対策案の抽出を開始したところ。

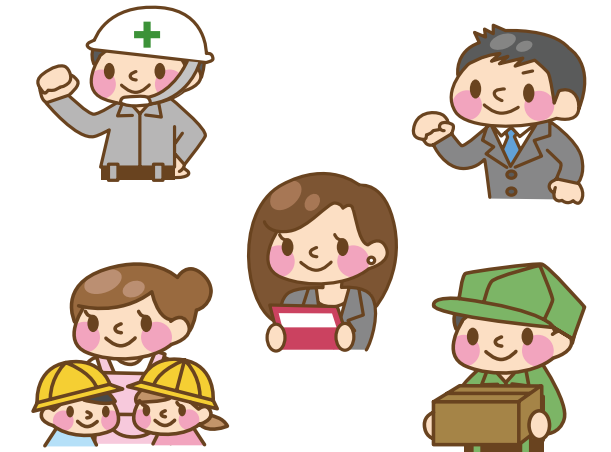
2年目は、降雨モデルにより、浸水シミュレーションを行い、浸水被害の発生メカニズムを推定、3年目は測量、設計を進めていく。



- Q 停電時のポンプ作動についてどうするのか。
- A 台風時などの停電によるポンプの停止は、過去10年間で1回あった。過去5年で確認したところ停電はない。今後は常設の自家発電機の設置など、停電対策も検討していく。

長時間労働について

- Q 松阪市では過労死ラインと呼ばれている月80時間超えの残業はあるのか。職員課として職員の残業をどのように捉えているのか。
- A 時間外勤務の実績として、市全体で11万9471時間。これは前年同期比で1万1,830時間、9%の減となっている。月80時間を1回でも超えて時間外勤務を行った者は43名、月平均で80時間を超える時間外勤務をしている職員はいない。所



属長より時間外勤務削減のための心配りシートを使用して、メンタルヘルスクエア及び時間外勤務削減に向けた業務改善への指導やアドバイスを行なっている。

- Q 竹上市長になってから、時間外が1万1,830時間も縮減されている。これを、人件費に概算しますと幾らになるか。
- A 3,000万円強、時間外手当が減っているという状況である。
- Q 時間外勤務と年次有給休暇との因果関係はあるのか。
- A 時間外勤務が多くなると年休の取得率が低くなるという傾向がある課もあるが、必ずしも時間外が多くなると年休の取得率が低くなるまでとは言えない。

部落差別解消推進法について

- Q 部落差別解消推進法が国会で昨年の12月9日成立した。現在もなお部落差別は存在すると明記され、基本的人権を保障する憲法の理念にのっとり許されないとして対策を求めている。松阪市としてどのような取り組みをしていくのか。
- A 法律の趣旨をしっかりと受け止め、国や県の動向にも注視しつつ取り組んでいく。



地域振興局予算について

■関連質問 中島清晴

- Q 振興局の予算、権限はどう整理されたのか。また、本庁直轄とされる農林水産、建設保全、教育事務所の予算と権限は。
- A 支所という位置づけで変更を加えたものではない。予算については今までと同様地域振興局費である。それぞれの事務所は本庁組織で一括で実施することで、スケールメリットが期待でき、効果的な業務を進めることができる。

祭り、神事などの伝承について

■関連質問 川口 保

- Q 祭り、神事、伝統芸能などの存続が難しくなっている。どのように感じているのか。
- A 祭りを通して地域住民の結びつきが強くなり、祭りなどはすばらしい力を持っている。一歩進める文化行政を進めていきたい。



楠谷 さゆり 議員 (会派に所属しない議員)

豊かな保育には、安心して働ける職場環境を



第1種非常勤保育士 新賃金体系の問題点

- Q 職務経験による上乘せがある新賃金体系から、子育て支援センターの職員を除外する合理的説明は？
- A 人材確保という緊急性と、保育園現場の勤務時間の特殊性や作成すべき書類の量など、事情が他の職場とは異なる。
- Q 賃金格差がつけられる合理的理由は、資格の有無、就業時間、仕事内容の3つである。資格は同じ。サービス残業は職場環境の改善をするべき



▲子育て支援センター ふれんず

ことであり、賃金格差をつける理由にはならない。仕事の内容は違うが、どちらも責任は重い。

- A 40数名が今足りないという緊急事態で、この賃金を設定した。
- Q それには何も反対しない。ただ、市の都合で子育て支援センターに異動になった保育士は不公平感を持っている。子育て支援センター5名の非常勤を同じ賃金体系に含めるといくらか？
- A 約93万5,000円の試算となる。
- Q 1年間に93万5,000円の投資で、将来に大きな意味を持つものだと思うが。
- A そういう気持ちはあるが、賃金改定の目的を理解してほしい。今後配置が変わることについても、見直していく。

青 凜 会

3年目の竹上市政、意気込みを問う！

- 代表質問 濱口 高志 議員
- 関連質問 沖 和哉 議員
- 中村 良子 議員



濱口 高志 議員

津波ハザードマップをもっと細かく

- Q 浸水予想図の色分けが2~5mで1区分になっている。北部給食センターは、2.5mのデータはあるが、このマップに入れなかったのか。
- A 10m角で細かいデータは県からもらっているが県と同様、公表の予定はない。

意見 地点ごとの浸水深さがホームページで見られるようにしてほしい。

空家対策特別措置法への取り組みは

- Q 2年前から何も進んでいない。
- A 建築、環境、防災、景観、まちづくり、税務等の庁内の課長級で議論している。
- 意見 津市では調査が終わっている。すぐに取り掛かれなかったのは残念だ。

新たな気持ちで一步前進の一年を！

● 代表質問 山本 節 議員
● 関連質問 松岡 恒雄 議員



山本 節 議員

幼保小中室温環境の改善

- Q 昨年7月の中川幼稚園の室温測定が、37.5度、38度、40.5度、41度の現状であり、具体的な庁内検討委員会の立ち上げによる対策、方向性に対する現時点での考え方。またアンケート、そして西中学校の結果を踏まえてどうお考えか。
- A 幼稚園施設のエアコン導入されていない教室においては、温度が高い日などには園児を暑さから守るため、エアコンが整備されている遊戯室に移動し、極力園児に負担がかからないように工夫している。エアコン導入の考え方については、新年度に立ち上げる教室環境対策検討委員会において、導入の是非及び仮に導入した場合の幼少中の優先順位等も議論いただきたい。

アクアイグニス多気との連携について

- Q 多気町に計画中のアクアイグニス多気の食材や農業関係者との協議会、薬草を特化して提供可能な方々の把握、雇用創出への説明会の開催についてのお考えは。
- A 松阪市と多気郡3町及び管内の商工会議所、商工会で構成し、ハローワーク松阪も関わり、松阪地域雇用対策協議会を設置し、松阪地域の雇用促進を図っている。今後多気町から説明会開催についてお話があるかもしれない。多気町と一緒に連携策を図っていききたい。

高齢者が「安心して暮らせるまちづくり」について
(1) 認知症徘徊対策～

- Q 平成26年から広域で立ち上げた徘徊SOSネットワークの模擬訓練について、見守り隊も含めて今後の方向性、考え方は。
- A 各地域の高齢者安心見守り隊をはじめ、各地域包括支援センターに配置の認知症地域支援推進員、社会福祉協議会、市の担当部署も一緒に相談や協議をしながら、訓練を実施し、徘徊されても安心して家庭へ戻る地域の支え合いを支援していききたい。



▲徘徊 SOS ネットワーク模擬訓練

公共施設トイレ事情について

- Q 振興局の集会所、生活改善センター等の1基しかない男女混合、水洗ではない環境のトイレに関してのお考えと、学校、教育現場での洋式への保護者や子どもへのアンケートへの考え方と方向性について、また高齢者中心の集会所等の洋式化への対応についてのお考えは。
- A 高齢化、利用者のライフスタイルの変化に従い、洋式水洗トイレが求められると想定している。アンケートについては、職員や保護者の意見等を聞けるように、各学校の実態調査に努めていききたい。公共施設のト



▲駐車場にほしい翠松閣の土地

分庁舎整備はどうなっているのか

- Q 事務スペースの不足から、翠松閣を改造し早急に対応しようとしていた。しかし今年度の予算に上がっていないのはなぜか。
- A 本館北側への建築を、6～10年の中期計画で進める。

意見 駐車場だけでも早く進めてほしい。

ふるさと納税による財源確保戦略

- Q 担当課は少数精鋭でやっているが、限界だと危惧する。人員増員やバックアップ体制の強化などはどうか。
- A 外部委託というのも含め可能性を探りながら、地域の特産品を全国に発信する機会として、努力していく。

意見 子育て1番のための財源確保を強くお願いする。

一般不妊治療にも助成を求める

- Q 特定不妊治療は、治療ステップとして後半戦である。心身のストレス軽減のために

松阪市の不妊治療における費用負担と課題

助成金もらえない			
一般不妊治療	0	問診	—
	1	タイミング法・排卵誘発	7～15%
	2	人工授精 (AIH・IUI)	10～25%
助成金もらえる			
特定不妊治療	3	体外受精 (VIF)	25～35%
	4	顕微授精	30～50%

その他：交通費、宿泊費、就労環境、周囲の無理解、偏見、自己否定、離婚原因

▲不妊治療による費用負担

も、一般不妊治療に対する経済的な支援はできないのか。

- A 産めよ増やせよという誤解を受けるため、市の考えとは違う。

生活困窮学習支援の危険性

- Q 低所得の方しか利用できない事業では偏見を誘発し、制度として危険だと考える。
- A 個人情報取り扱いや教育委員会との連携をしっかりと進めたい。

インクルーシブ教育の構築を！

- Q 地域の学校に通学する特別支援が必要な子どもは増加してくる。障害者差別解消法が制定され、合理的配置提供の法的義務化となった。校舎改修、新築における仕様書にユニバーサルデザイン等明記が必要と考えるが、どうか。
- A 官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準、三重県のユニバーサルデザインのまちづくり推進条例等の適用基準に基づくことを、特記仕様書内に明記し、設計業務を発注する。

福祉会館をもっと柔軟に利用すべき

- Q 松阪公民館が福祉会館となることについて現使用スペースを松阪公民館に当てはめると、大会議室をパーティションで区切れば、2階と3階に収まる。1階を他の事業に利用しなければもったいない。さまざまな市民が建物を共有する中で相乗効果が期待される。人の行き交いの減少も少しは止められるのでは。
- A 稼働率が低い部屋を今後有効利用できないか等、31年のリニューアルに向けて検討会を設置し、全てを見直す。



▲松阪公民館（殿町）